

第1学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい筆順や「とめ」「はね」「はらい」などを区別して、整った文字を書く習慣を身に付ける。 ○声の大きさや順序を意識した話し方の指導の工夫をし、話す（聞く）力を育てる。 ○言葉へ関心をもち、豊かに想像しながら読む力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい鉛筆の持ち方、正しい筆順、「とめ」「はね」「はらい」を意識させ、常に丁寧に文字を書くように継続して指導する。 ・相手への意識をもたせるようにする。順序は、児童がイメージしやすいように話し方（聞き方）の型を示す。 ・音読を積極的に行い、語彙を増やし言葉から豊かに想像する基礎を養っていく。また、大事な言葉を見付け、そこから想像を広げて読むことができるよう、サイドラインや吹き出しなどを用いて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書写の時間を十分に確保したことで、整った文字を書く習慣が身に付いてきた。 ○毎日音読を行い、読む力が付いた。また、話の内容の大体を理解できるようになった。 ▲根拠をもって話したり、最後まで集中して話を聞いたりできない。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が意欲的に活動できるように、生活場面で活用できる導入や教材を工夫する。 ○具体物や半具体物の操作活動をしながらかえさせ、習熟を図る。 ○適用問題で学習内容の理解の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場面を用いた問題の設定や教材の掲示を工夫し、「解いてみたい」と思わせる授業づくりに励む。 ・具体物や半具体物などを操作しながら考え、操作や図などを使って児童が説明できるように指導する。そのときに、できるだけ対話させるような指導をする。算数の言葉を使って言語化させる。 ・個人で活動させる時間を十分に取り、適用問題も積極的に取り組み、理解の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体物などを操作する活動から、自分の考えを表現することができるようになった。 ○計算力の向上。文章題から式を考えたり、説明したりできるようになってきた。 ▲友達との考えのよさに気付いたり、共通点や相違点を見付けたりできるようになってきた。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と地域の人々・社会との関わりに関心をもち、集団や社会の一員としての役割や行動の仕方を考え、安全で適切な行動ができるように指導する。 ○自然との関わりに関心をもち、自然の素晴らしさに気付き、自然を大切にすることを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と地域の人々・社会との関わりが具体的に把握できるような学習活動を行い、積極的に体験活動を取り入れていく。 ・アサガオや野菜の栽培・収穫を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもち、生きていることや成長していることに気付かせ、生き物に親しみをもち、大切にすることができる態度を育てる。 ・国語科、算数科、音楽科、図画工作科など他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○植物の栽培では、水やりや草取りなどの手入れを通して、自然に親しみ大切にすることを培った。 ○家の手伝いを通し、家族の大変さに気付いて感謝の気持ちをもつことができた。 ▲地域の方との交流を増やし、社会の一員としての自覚をもたせる必要がある。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな運動を経験させ、基礎感覚を身に付けさせる。 ○きまりを守り、友達と仲良く、協力して、安全に気を配る等の態度を育てる。 ○課題に応じて運動の取組を選んだり、工夫したり、相手に伝えたりする力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動を経験させ、動きの感覚を養うことで、運動の楽しさを味わい、できる喜びを体感できるようにする。 ・活動の仕方や遊びのルールを工夫し、決まりを守ることで味わえる楽しさを感じられるようにする。 ・運動の取組を判断する場を設けたり、互いの良さを認め合える振り返りの場を設定したりして、思考力や判断力、表現力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どの単元にも基礎感覚の運動を取り入れたことで、着実に身に付けることができた。 ○友達と仲良く・楽しく・安全に活動する態度が育った。 ○苦手なことにも果敢に挑戦したり、すぐに諦めなくなったり、心が強くなった。 ▲思考・判断・表現力を育てる場が少なかった。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞など、様々な音楽活動に興味をもって、楽しく取り組む姿勢や態度を育てる。 ○表現や鑑賞の活動を通して、音楽の諸要素や仕組みを十分に感じ取り、表現につなげられる基礎的な能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なリズム遊びやわらべうた等を歌う習慣を身に付けるようにする。 ・歌唱の指導では、友達と声を合わせる楽しさを感じ取れるようにする。 ・鍵盤ハーモニカの指導では、苦手意識をもつことのないように、合わせる活動を多く設定しつつ、個別指導を丁寧に行う。 ・ペア学習やグループ学習を取り入れ、合わせる楽しさを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱では、発声に気を付けながら、楽しく取り組むことができた。 ○鍵盤の学習では、難易度の高い楽曲でも友達と協力しながら演奏することができた。 ▲わらべうたを取り入れた活動があまりできなかった。 ▲鍵盤の個別指導があまりできなかった。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○表現及び鑑賞の活動を通して、体全体の感覚を働かせて十分味わいながら、楽しみながら進んで活動する。 ○はさみ、簡単な小刀など、安全で基礎的な技能を習得する。 ○自分や友達の作品について気付いたことを簡単な言葉で、発表できるようにする。 ○展覧会を楽しみにする気持ちをもつようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな材料を使用する機会を設け、材料の特性やよさを生かした表現ができるようにする。 ・いろいろな道具を使う題材を取り入れ、道具の扱いに慣れるようにする。 ・感覚を広げて、自由に発想を広げることができるような題材を設定する。 ・鑑賞の時間を設け、友達の作品のよさに気付けるような場の設定を行う。 ・展覧会のイメージを具体的に提示し、作品制作の意欲を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな道具や材料の扱いに慣れ、楽しみながら安全に活動することができた。 ○展覧会では、友達の作品の工夫やよいところに向け、伝え合うことができた。 ▲自分なりの工夫をしながら表現の幅を広げていけるよう、様々な表現や材料に触れさせていく必要がある。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○人に対する思いやりや協力、規則の遵守の心を育てる。 ○生きることを喜び、生命を大切にすること。 ○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づき、児童の実態に合わせ、児童が共感や感動を覚えるような教材を選び、活用する。 ・児童が発言しやすい場の設定をし、発言を促すようにする。 ・自分の成長を感じ自己肯定感を高められるように、生活科とも関連付けながら進めていく。 ・問題解決的な学習や役割演技などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア学習やグループ学習など学習形態を工夫したことで、心情について協力しながら考えることができた。 ○役割演技を通し、より深く道徳的価値に迫ることができた。 ▲実践意欲はあるが、学校生活において規則遵守などの実践には、個人差がある。

